

第1回会議の検討事項の整理

看護師養成部会の検討事項

第1回～第3回

- ・看護師養成施設の存続の可否
- ・統合新病院への併設について

第4回～

- ・看護師確保の施策（運営面）

第1回看護師養成部会の振り返り

看護師養成所を取り巻く環境について

現状①

- ・平成27年の看護師需給率は、全国で99.3%、石川県99.7%となることが予想されている。
- ・加賀市における看護師養成施設入学対象年齢(18歳)人口は平成33年度以降に減少し、平成33年度は平成23年度比で11.7%(92人)減少することが予想されている。

意見① より高い看護、システムが求められている現状において
今後は**より看護師の供給が必要**になってくるのではない
か。

意見② 福井大学ではベテランの看護師が若い看護師とペアに
なる**パートナーシップ・ナーシングシステム**を導入
することで、「過重な労働時間の削減・安全性の向上・離職
率の低下」に繋がっている。

意見③ 需給バランスは卒業生の人数で試算されていると思うが
卒業生と実際に就職する人の数は大きく乖離しているた
め、この見通しは受け入れ難い部分がある。

意見④ 在宅医療等の影響で、今後は看護師の**病院以外への
就職が増えることが予想される**ため、さらに看護師数を
増やしていくことが必要ではないか。

第1回看護師養成部会の振り返り

看護師養成所を取り巻く環境について

現状②

- ・加賀看護学校の受験者数は定員数の2倍以上であり、毎年30名程度の学生が入学している。
- ・加賀看護学校の入学者の約半数が市内出身である。
- ・平成23年度は15名の卒業生のうち、6名が市外、9名が市内（加賀市民病院が8名）に就職している。

意見① 市民病院に就職している看護師の**多くが加賀看護専門学校の卒業生**である。

意見② 以前は付属看護学校があったが、閉校になってからは**看護師の確保に本当に苦勞をしている**。看護学校がなくなったことで、現在は遠方まで看護師の確保に行っている。

意見③ 市外から学生を集めるためには**奨学金のあり方を検討**することが必要である。

意見④ **教育環境、働く環境をもっと整備**していくことが大切である。

意見⑥ 伝統ある看護学校であり、加賀市において、**重要な医療的な一翼を担う人間の育成の高等教育機関**である。論ずる必要もなく、存続すべきである。

検討事項の整理

①看護師養成施設の存続の可否

【決定事項】

医療の一翼を担う重要な高等教育機関であり、今後も引き続き存続させる。



②統合新病院への併設について

⇒第2回、第3回の検討事項

③看護師確保の施策

⇒第4回以降の検討事項

＜参考意見＞

- ①パートナーシップ・ナーシングシステムの導入
- ②奨学金のあり方の検討
- ③大学あるいは加賀市内の病院との人事交流
- ④教育環境、働く環境の整備